



『精神分析家は分析理論を臨床にどう使うか—精神分析における実践』

精神分析には魅力的な理論が数多くあります。しかしながら、それらの理論は多様化の一途をたどり、臨床実践との結びつきがとらえ難く感じられるものがあります。今回の Lecture Day では、理論が実際の精神分析臨床にどのように使われるかを学派の異なる精神分析家に提示してもらいます。加えて、1 面接セッションからその実感が浮かび上がるという即興性と有用性の高い企画を織り込みました。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

日 時：2020年1月12日（日）

時 間：10：30～16：40

場 所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター（JR 市ヶ谷駅より徒歩2分）

参加人数：100名

対 象 者：心理臨床家、精神科、心療内科等精神保健に関する臨床経験をお持ちの方、  
その他守秘義務を保持される方。

参 加 費：8,000円

---

プログラム：

司 会：松木邦裕

Opening Remarks 松木邦裕

講義 1. (10：30～11:20)

『精神分析理論と主観的交流：関係学派の立場から技法論を考える』

講師：吾妻壮

講義 2. (11：25～12：15)

『ビオンと精神分析理論～ビオンに学ぶクライン派の立場から』

講師：古賀靖彦

講義 1, 2 への質疑 (12:15～12:30)

———昼休み 60分間———12:30-13:30

講義 3. (13：30～14：30)

『罪悪感の理論と押しつけられた罪悪感～日本語臨床の立場から』

講師：北山修

講義 3 への質疑 (14:30～14:45)

Break (14:45-15:00)

臨床実践ディスカッション：1セッション検討 (15:00-16:20)

提示者：岡本亜美

コメント：吾妻壮、古賀靖彦、北山修

全体討論 (16:20～16:40)

Closing Remarks 松木邦裕

---

申込方法：日本精神分析協会事務局まで、fax または電子メールでお申し込み下さい。

Fax：03-3350-9749 Emai：tokyo@jpas.jp

申込期限：2019年12月30日（月）

# 日本精神分析協会 LECTURE DAY

## 参加申し込み書

本参加申込書は **12月30日(月)**までに E-mail、FAX または郵便にてお送り下さい。

E-mail でのお申込みは、件名を「第7回 LECTURE DAY 申し込み」として、以下の項目を本文にお書き頂くか、申込書を添付して下さい。

日本精神分析協会事務局

E-mail : tokyo@jpas.jp Fax : 03-3350-9749

氏 名	フリガナ	女性 ・ 男性
連絡先 (自宅・勤務先)	〒 —	
TEL/FAX	/	
E-mail		
勤務先 (職種)		
参加費 : 8,000 円 ※先着順に受け付けます。参加の可否については受付後順次連絡先住所、または申込書に記載のメールアドレスにご連絡いたします。その際振込先のご案内もいたします。		

※申込書に記載の個人情報は、セミナーのご連絡、ご案内の他には使用いたしません。